

令和 6年度（5年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	コンパクトで魅力ある都市空間の形成		課(室)名	都市計画課
	施策	多核連携型コンパクト・エコシティの推進		電話番号	087-839-2455
	基本事業	適正な土地利用の推進		事業実施主体	市
	事務事業	多核連携型コンパクト・エコシティ推進事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	平成30年4月に改定した多核連携型コンパクト・エコシティ推進計画に基づき、集約拠点への都市機能の集積と市街地の拡大抑制による、コンパクトで持続可能な都市構造「多核連携型コンパクト・エコシティ」の実現を目指す。				
6年度概要	都市計画マスタープラン改定（地域別構想）等コンパクト・エコシティ推進懇談会等委員報酬コンパクト・エコシティ推進懇談会等関連旅費コンパクトなまちづくり推進協議会総会年費				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	6-	事務事業の種類	内部管理事務


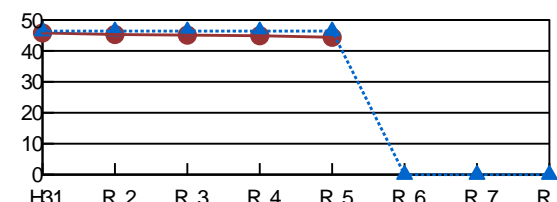

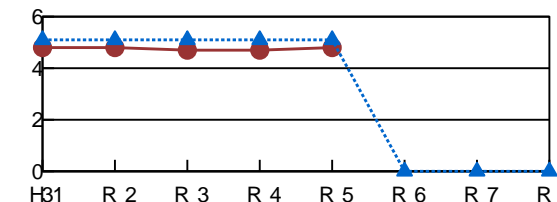
【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	人口減少・超高齢社会を見据え、30年、50年後においても、活力を失わず、市民がいきいきと暮らせるよう集約拠点への都市機能の集積と市街地拡大を抑制し、コンパクトで持続可能なまちづくりを進める。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R3	R4	R5	R6	中期目標 R5
コンパクト・エコシティ推進計画に掲げる（実施済（継続分）	事業	59	65	66	64	62

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R3	R4	R5	R6	中期目標 R5
居住誘導区域内の人口密度	人/h	目標値	46.4	46.4	46.4	0	46.4
		実績値	45.1	44.9	44.4		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 居住誘導区域において、生活サービスやコミュニティが継続的に確保できるよう、人口密度を維持することに努め、概ね目標を達成した。 							(達成度) 95.7% 33点
中心市街地の居住人口の割合	%	目標値	5.1	5.1	5.1	0	5.1
		実績値	4.7	4.7	4.8		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 前年度から248人増の20,216人となり、居住人口の割合としても前年度より0.1%増の4.8%となり、概ね目標を達成した。 							(達成度) 94.1% 32点

【コストの推移】

指標名	単位	令和3年度（決算）	令和4年度（決算）	令和5年度（決算）	令和6年度（予算）
トータルコスト	[千円]	13,034	20,936	25,307	108,780
（事業費）	[千円]	1,558	9,485	11,909	100,199
（職員人件費）	[千円]	11,476	11,451	13,398	8,581

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

人口減少・超高齢社会を見据え、30年、50年後においても、活力を失わず、市民がいきいきと暮らせるよう、集約拠点への都市機能の集積と市街地拡大を抑制し、コンパクトで持続可能なまちづくりを進めるため、令和6年3月に策定された、第7期高松市総合計画等を踏まえ、都市計画マスタープラン及び関連計画の見直しを行った。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

今後とも、立地適正化計画やコンパクト・エコシティ推進計画に基づき、人口減少・超高齢社会を見据え、30年後、50年後においても活力を失わず市民がいきいきと暮らせるコンパクトで持続可能なまちづくりを実現するために継続して事業を推進していく。
6年度は、改定された都市計画マスタープラン等を踏まえ、シーフロントゾーンを始めとする、用途地域の見直しについて検討を進めていく。

令和 6年度（5年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	コンパクトで魅力ある都市空間の形成		課(室)名	住宅・まちづくり推進室
	施策	多核連携型コンパクト・エコシティの推進	電話番号	087-839-2136	
	基本事業	適正な土地利用の推進	事業実施主体	市	
	事務事業	豊かな住まいづくり事業	事業期間	平成30年度～令和5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	今後、少高齢化や世帯数の減少により、コンパクト・エコシティの推進を図る見込みであり、これまでの住宅の「量の確保」から「質の向上」の活用を対し、抑制や居住志向の発生を抑制する。展開を後押するため、令和2年3月に「豊かな住まいづくり条例」の制定に策定した住宅生活基本計画に沿って、きめ細かな住宅政策に取り組んでいる。				
6年度概要	高松市住宅取得支援事業 高松市安心あんぜん住宅事業 高松市先導地視察等旅費 政策研究大学院大学短期研修 マンション管理士派遣業務委託				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	2-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	市民及び住宅
意図（どのような状態にしたいか）	<ul style="list-style-type: none"> ・良質な住宅ストックの形成と将来世代への承継 ・良好な住宅環境の形成 ・多様な居住ニーズが適切に実現される住宅市場の環境整備

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
コンパクト・エコシティ推進懇談会開催回数	回	4	4	1	0	3

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
市民満足度調査（居住年数10年未満の対象者における、住みよ・まあまあ住みよの割合）	%	目標値	86.4	86.4	86.4	86.4	86.4
		実績値	86.4	72.3	82.2		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 新しい住宅施策の開始等もあり、前年度よりも9%数値が改善したものの、目標は達成することができなかった。 (目標達成度)							(達成度) 95.1% 33点
成果指標名（どのような成果が得られたか） 居住誘導区域内の人口密度	人/h	目標値	46.4	46.4	46.4	46.4	46.4
		実績値	45.1	44.9	44.4		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 居住誘導区域において、生活サービスやコミュニティが継続的に確保できるよう、人口密度を維持することに努め、概ね目標を達成した。 (目標達成度)							(達成度) 95.7% 33点

【コストの推移】

指標名	単位	令和3年度（決算）	令和4年度（決算）	令和5年度（決算）	令和6年度（予算）
トータルコスト	[千円]	19,576	19,964	20,257	31,430
（事業費）	[千円]	7,345	1,254	1,966	5,085
（職員人件費）	[千円]	12,231	18,710	18,291	26,345

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	拡充
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

本市の住宅関係施策の統一した指針となる「高松市住宅生活基本計画」や、既存マンションの適正な管理や流通促進、管理の適正化意識の醸成を促すため、「高松市マンション管理適正化推進計画」に基づき、良質な居住環境の確保に向け取り組んでいる。令和6年度以降は、本計画に基づいた施策を進めるとともに、マンションの管理適正化に資する助言指導制度の検討を進める必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

本市の地域特性に対応した施策・事業の展開を後押するため制定した「高松市豊かな住まいづくり条例」や、「高松市住宅生活基本計画」に基づき、空き家の発生抑制や流通促進に資する支援施策を講じる。その際、高松市コンパクト・エコシティ推進懇談会において幅広い意見を聴取した上で、きめ細かな住宅政策に取り組む。